

伊勢山古墳の発掘

前方後円墳 伊勢山古墳は楊井古墳群の一つで
昭和34年11月3日熊谷市文化財指定となった。

その位置は荒川南岸 台地のおわ^{ところ}にある。

ここに立つと吉野川を眼下に大里、吉見領を一望
に見渡すことができる。

昭和36年9月工場敷地となるので市教育委員会
では後世に残すため国の許可を得てこれを発掘
調査することになった。

これはその日記録である。

尚16mm 50mmに撮影された。



秋草ゆれる吉野川



吉野川よりみる古墳



測量



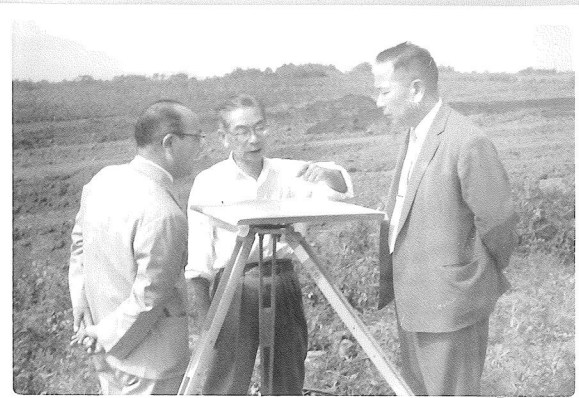
発掘経過

この発掘は9月16日から28日
まで14日間にわたって行われ
市内各中学校生徒、並びに
深谷商高、松山高校生など
の特別参加があり延200
人に達した。

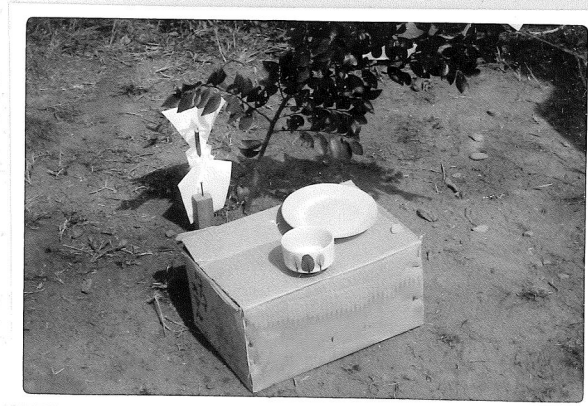


修校式
9月 日





説明する小沢先生



当日の祭壇は印象的
だった。



また目白坂を登った古墳の南西 150m の附近に
古代の瓦窯址(かわかまど)もあり、古墳調査同時に
二班に分かれて はじめられた。

目白坂を登ると瓦窯跡がある。



瓦窯址の発掘 (2)



瓦窯址の発掘



この瓦窯址は、のぼり窯(かまど)で熊谷市
としては初めてのもので、奈良時代の瓦
かまどの有様や 瓦の製法技術を知
るに貴重なもので、これから当時のヌメ
瓦が多数出土した。



発掘開始

9月 日



白久目

小沢

地形と状況を説明
する小沢国平氏

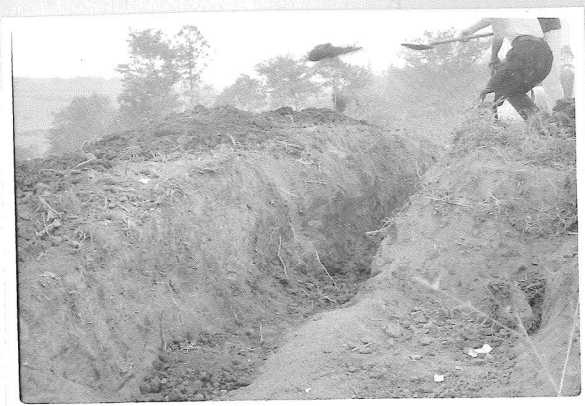


オ一日の発掘
はじまる
7月 日

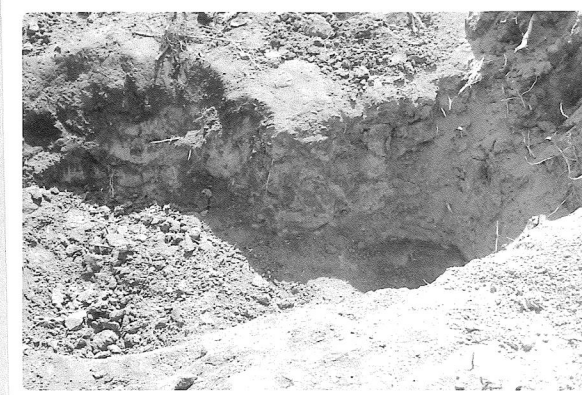


社会科の勉強に 時々説明する夏目先生
生徒もこの古墳発掘に興味をもって参加したよろこび
を得て文化財に新しい認識をもった。

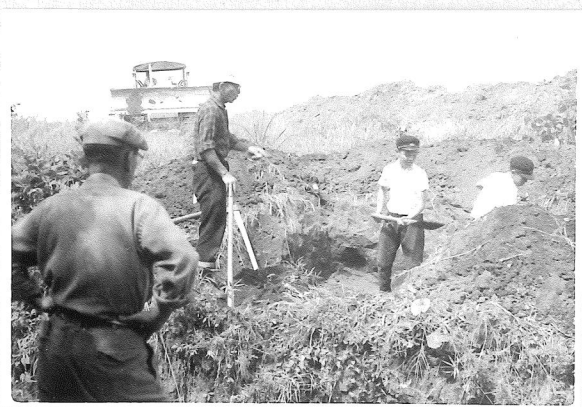
7月 日



癸掘り 日
ようやく粘土質にぶつかる。



斗 日。
夏目先生も自から掘り起す
附近ではブルドーザーがどんどん整地をしている。





★ 日

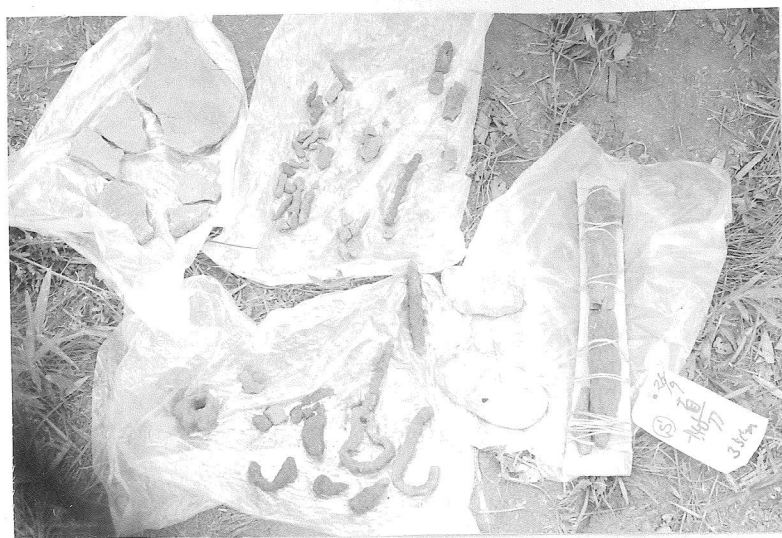
一つの小さな鉄片でも見落してはならない。
その一つから当時の模様が再現される。



★ 日



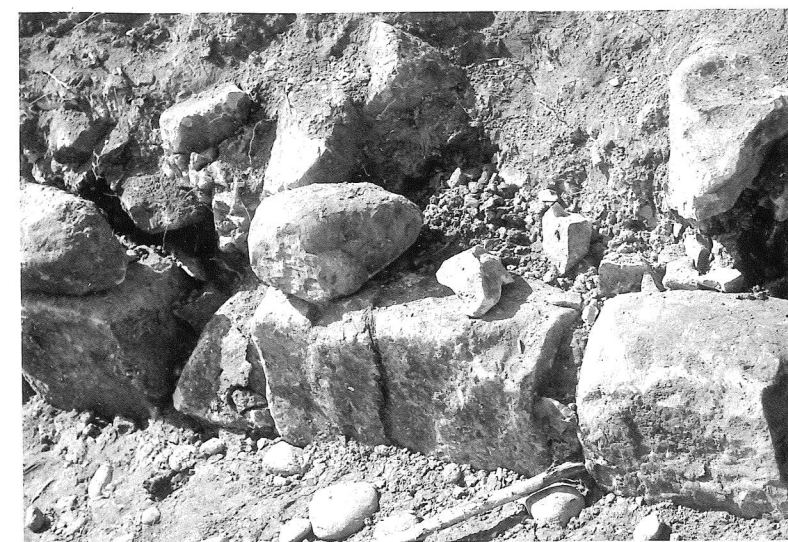
9月26日、石室の一部を発掘。27日に至ってその
全貌が明らかとなった。
すなわち、石室は羨道をもつ横穴式石室、井戸式で
古墳時代後期のものと推定された。



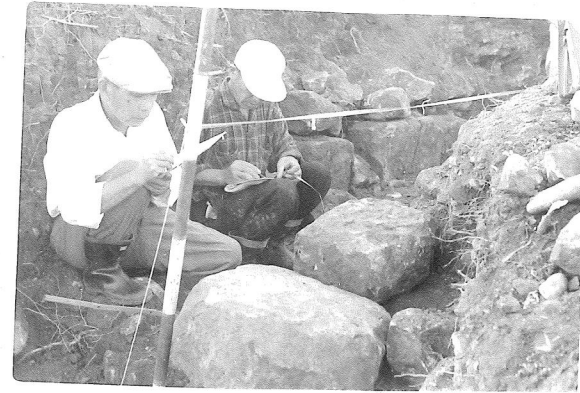
苦斗 数十日

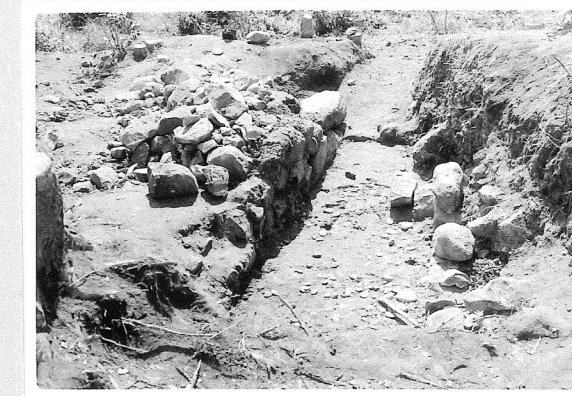
貴重な出土品

各新聞社通信員も
かけつけてニュースの取材











8



9



10



11



12



13



14



15



16



17

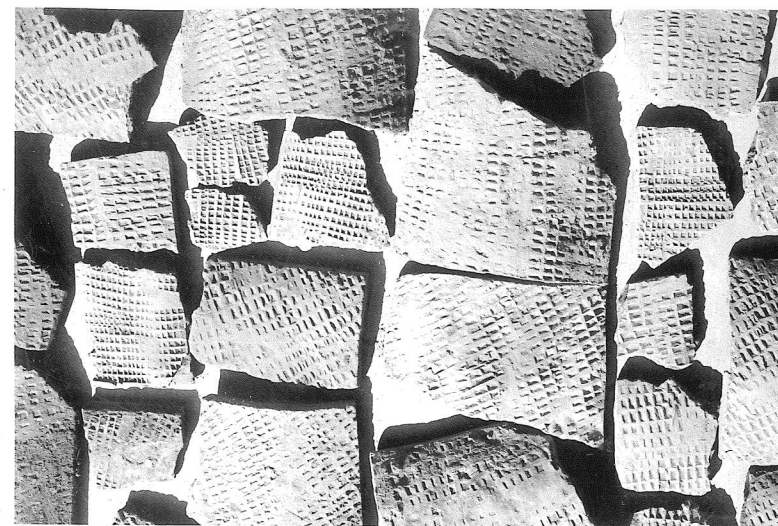


18



19

出土品
(瓦窯址)



表

20



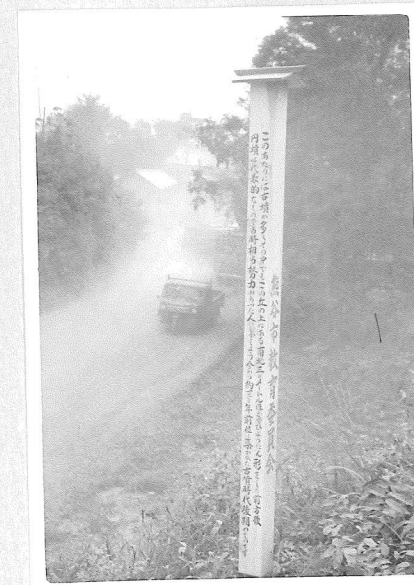
裏

21



古墳出土品

石室の中から直刀の一部、刀子(とうす)2、鉄の矢じり15、馬具の一部、金環1、須恵器の破片など多数が出土したので時代と背景を知り貴重な資料を得た。



みだれ咲く

附近の秋草は薙めぐれば
甬が咲けど

文化財指定数ヶ月、むなしく
この標柱は取り去られ、伊勢山古墳
と共にこの宇宙の一瞬に消え去っ
た。